

第3部 【パネルディスカッション】

保育人×他業界プロフェッショナルが語る

「専門性の質を高める仕組み作り」

■パネリスト

松田 美穂子氏（愛恵保育園 園長）

長年保育業界に身を置き、保育のスペシャリストとして保育業界を支え、現在は社会福祉法人浜松乳幼児福祉会 愛恵保育園の園長。2000年から2002年まで浜松市保育士会会長。2010年 県立高等学校 学校評議員に就任し、今年度からは県立支援学校 学校評議員に就任する。

村田 幸一氏（マーキュリーアンドマカリスタージャパン代表 / クリエイティブディレクター）

コピーライターとして広告業界に就職。中堅広告代理店で電通、博報堂などの大手広告代理店としてのぎを削る毎日。約30年の経験から、「広告」という仕事は大きな組織だから良い仕事ができるということではなく、ひとりひとりの「人間力」に左右されることを痛感。2002年、企画制作会社「マーキュリーアンドマカリスタージャパン」を設立。現在、クリエイティブディレクターとして企業のブランド力の強化につながる広告やイベントの企画を中心として活動。あすみ福祉会ではCIを担当し、法人パンフレットやクレドカードの制作に携わる。受賞 TCC（東京コピーライターズクラブ）新人賞・朝日広告賞グランプリ（カゴメ）他多数。

杉山 芙沙子氏（スポーツ教育研究者 / パーム・インターナショナル・テニス・アカデミー 校長）

早稲田大学大学院卒業。1998年 茅ヶ崎市にパーム・インターナショナル・テニス・アカデミーを設立。2001年より杉山愛をサポートするチーム「チーム愛」のディレクター兼コーチを務める。2004年 文科省スポーツ功労賞受賞。テニスという枠を超えて、「可能性や才能を引き出す教育法」「コーチング理論」など、様々な観点で子どもを持つ親、幼稚園や保育園の先生などに支持を受けている。

■ファシリテーター

迫田 健太郎（あすみ福祉会 常務理事）

立教大学卒業。1998年 アンダーセンコンサルティング（現：株アクセンチュア）入社。銀行系リース会社における業務基幹システムの開発・保守等に携わる。2003年 社会福祉法人あすみ福祉会 常務理事として就職。茶々保育園の事務局長、柿の木台保育園の副園長、茶々すずや保育園、茶々まはり保育園の施設長として運営管理・人事管理等に携わる。講演「保育所の危機管理（リスクマネジメント）について」「人材育成の考え方と採用市場の現状について」など。